

くら・ぴあ通信

令和3年3月号（第30号）



社会福祉法人 ひとほ福祉会

指定通所支援事業所

くらむぼん（0826）42-2188

ぴあ・くらぶ（0826）42-1144

厳しい寒さも和らぎ、気がつけば今年度も残りわずかとなりました。この1年、遊びや活動を通して様々な経験を積み重ね、自信を持ってできることが増えた子どもたち。顔つきも少しお兄さん、お姉さんになったように感じます。

来年度へ向けて準備をしながら、残りの日々もみんな楽しく過ごしたいと思います。



ぴあ・くらぶの日々



2月といえば…節分！今年も、ぴあ・くらぶに鬼がやってきました！

金曜日に活動しているよつばグループには、お友達が欲しいけど、豆まきをされて悲しい思いをしている鬼から手紙が…。ドキドキしながらもよつばグループのみんなは「お友達になってあげよう」「一緒に遊んであげよう」と言ってくれました。

いよいよ鬼が遊びに来ると…お友達になってあげたいけど、やっぱり鬼は怖い！

緊張しながらも一緒に『こんぺいとう』をして遊びました。鬼の番にはみんなが「上をまたいだらいいよ！」「ジャンプしたらいけるよ！」と声をかけてくれました。最後には手を繋いで一緒に遊んでくれたお友達も♪

たくさん遊んだ後、鬼はとっても嬉しそうに山に帰っていきました。ドキドキしたけど、ちょっぴり怖かったけど頑張った！鬼が帰った後の子どもたちの表情がいつもよりたくましく感じました。

鬼さん、また来年もぴあ・くらぶに遊びに来てね♪



活動の様子



くらむぼん

2月の体力づくりは、長い廊下を使って雑巾がけレースをしました。1回目は廊下を往復する単純なコース、2回目は真ん中に牛乳パックを立てて、ジグザグに進むコースを作りました。

ジグザグのコースは、ただ進むだけでなく、止まったり向きを変えたりと、体力も頭も使います。途中で分からなくなってストップしてしまう子も。そんな時には周りの子が「次は右よ！」「左よ！」と声をかける姿が。指摘するのではなく、教え合っている様子に成長を感じます。

ぴあ・くらぶ

バレンタインにはどのグループも『チョコ大福』を作って食べました。

かえでグループの子どもたちは、自分が食べる用と、家に持って帰る用の2つを作りました。

「弟にあげようかな～」と話していたTくんは、自分のチョコ大福を食べた後に「やっぱり、半分こしようかな…」と。思っていたよりも美味しかったみたいです♪自分で作ったおやつをみんなで食べるのは…格別に美味しい！

楽しいクッキングの時間でした♪